

■ 関西が取り組む政策課題

国際競争力向上のための

“イノベーションプラットフォーム”の構築

(実用化・市場づくりをめざしたイノベーションを
次々に創出する**仕組み**)

- 総合特区により、規制改革等を進め、企業や地域単独では解決できない課題に**府県域を超えたオール関西で取り組む**
- 域内資源を有機的に結び付けるとともに、資源の集中的投入を実現
- 内外に開かれたネットワークにより、知恵と資源を呼び込む

■ 関西のポテンシャルのフル活用

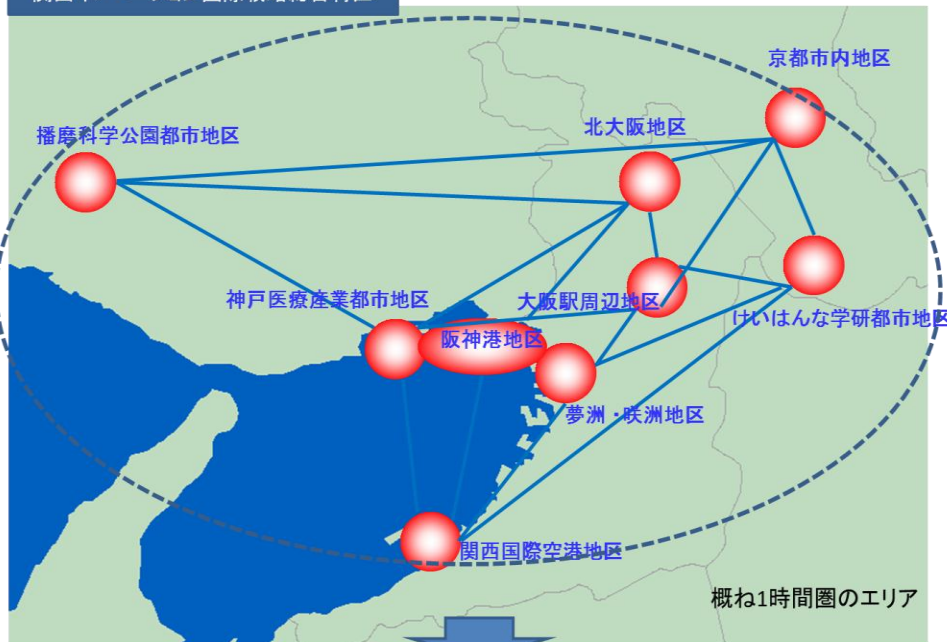
◆ 世界トップクラスのリーディング企業の集積

製薬：武田薬品、田辺三菱製薬、塩野義製薬、アスピオファーマ など
家電・電気機器・蓄電池・太陽電池等：パナソニック、シャープ、ユミコア、住友電工 など

◆ 世界屈指の大学・研究機関、科学技術基盤の集積

大学：京都大学、大阪大学、神戸大学 など
研究機関：地球環境産業技術研究機構、医薬基盤研究所、理化学研究所 など
科学技術基盤：SPring8、京速コンピュータ「京」 など

関西イノベーション国際戦略総合特区



一体的に「イノベーションプラットフォーム」を形成

■ 課題解決に向けた関西での取り組み

I 研究、開発から実用化へのさらなるスピードアップと、性能評価等による国際競争力の強化

- ◆ シーズから事業化までのスピードアップ促進
- ◆ 高い性能を差別化に結び付けるための評価基準の確立と規格化、標準化の促進

II 多様な産業・技術の最適組み合わせによる国際競争力の強化

- ◆ 先端技術分野における産学官連携の取組み
- ◆ ソリューション型ビジネスの促進とマーケットニーズに応じた戦略的な海外展開

III イノベーションを下支えする基盤の強化

- ◆ イノベーションを担う人材の育成・創出等
- ◆ 産業・物流インフラの充実強化によるイノベーション促進

■ 重点的に取り組む6つのターゲットでイノベーションを創出

～未来社会の市場を見据え、強みを有するターゲットに当面資源を集中！～

- ① 医薬品
- ② 医療機器
- ③ 先端医療技術（再生医療等）
- ④ 先制医療
- ⑤ バッテリー
- ⑥ スマートコミュニティ

⇒ 内外の生活革新をもたらすことを期待

■ 2025年に向けた目標

- 関西からの医薬品・医療機器の輸出を増加させ、
世界市場でのシェアを倍増！

(世界の輸入医薬品・医療機器市場：約46.4兆円 2025年現在予測)

- 多様な用途、市場拡大により
関西の電池生産額を大幅増！

(リチウムイオン・太陽・燃料電池の世界市場 約33兆円 2025年現在予測)

2010年 ⇒2025年	・医薬品	約1,890億円	⇒	7,800億円	} 輸出額
	・医療機器	約 660億円	⇒	2,800億円	
	・リチウムイオン電池	2,300億円	⇒	3兆8,500億円	} 生産額
	・太陽電池	2,500億円	⇒	1兆1,300億円	

■ 具体的な取組みと仕組みづくり

32事業、127項目の規制緩和・制度創設を提案

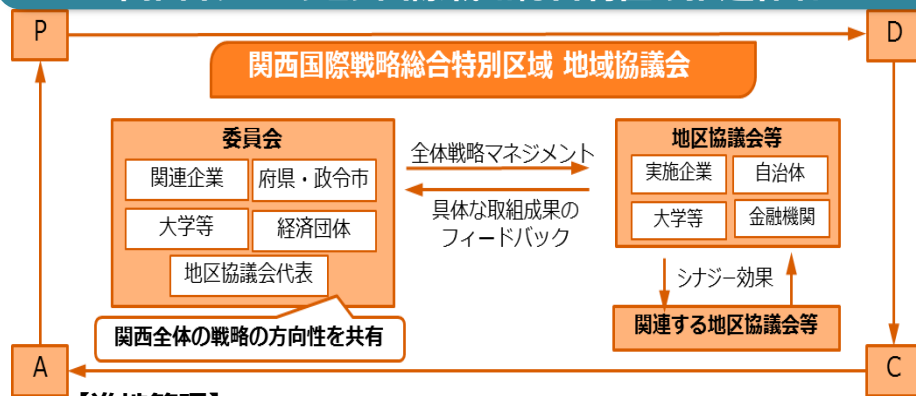
【主な事業】

- ◆ PMDA-WEST機能の整備 PMDA：(独) 医薬品医療機器総合機構
- ◆ 治験センターの創設
- ◆ バッテリー戦略研究センター機能の整備
- ◆ 京速コンピュータ「京」とSPRING-8を活用した革新的創薬と次世代省エネ材料の開発
- ◆ スマートコミュニティオープンイノベーションセンター機能の整備
- ◆ 日本初の抗体医薬のさらなる応用
- ◆ 先制医療の実現に向けたコホート研究・バイオマーカー研究の推進
- ◆ 世界最高水準のケルヒェン構築（関空）、国際コンテナ戦略港湾など

【主な規制緩和等】

- 一定の条件をクリアしたものについて、臨床試験で得られるデータを治験段階で活用することを認める制度の構築（特例）
- 治験・臨床研究に係る病床規制の特例
- 医薬品・医療機器等の輸出入手続きの電子化・簡素化
- 蓄電池の安全性・性能の評価基準の確立
- 電気事業法の規制緩和（特定供給に係る規制緩和で、再生可能エネルギー導入による実証実施） など

関西イノベーション国際戦略総合特区の推進体制



【進捗管理】

< 関西国際戦略総合特区地域協議会 >

全体の戦略の方向を示し、トータルでマネジメント

< 地区協議会等 >

関連する地区協議会とのシナジー効果を生み出しながら、主要企業等と事業を推進

地域の責任ある関与

- ・補助金、税の軽減、支援体制構築等による取組み